

DKNリサーチニュースレター

#1917、2019年6月16日（日本語版）
（エレクトロニクス実装の最新海外情報）

今週の話題

JPCAショー2019（その1）

6月5日から東京ビッグサイトで恒例のJPCAショー2019が開催されました。日本のプリント基板業界は、昨年の末から前年同月比で二桁のマイナス成長が続いており、業界最大のイベントの動向が注目されておりました。

今年のJPCAショーいろいろと大きな変化がありました。第一に挙げられるのは、開催場所の変更です。従来は、東ホールを使っていましたが、今年は全てが西ホールへ移動しました。事務局の説明によれば、2020年のオリンピック、パラリンピックの開催へ向けての改修工事が入っているために、その都合で移動を余儀なくされたとのことでした。来年のJPCAショーは、まさにオリンピック直前になりますので、さらなる移動を強いられ、これから新設される青海ホールに移ることになっており、交通の便が悪くことは避けられません。

西ホールへの移動によって、フロア面積はかなり縮小を余儀なくされたようです。これまで人気のあった各種セミナーの多くはキャンセルされてしまいました。

出展社数はだいたい前年並みとのことでしたが、前年まで大きなブースを構えていた大手基板メーカーや材料メーカーは、かなり狭いスペースでの展示をやりくりしなければならなくなったようです。受付を始めとして、各種案内やサービスは、かなり簡素化されています。業界が低迷しているので、展示会までが萎縮している感じがします。



展示はかなり地味になってしまいましたが、来場者は少なくなく、業界の情報交換の場としては、相変わらず活発に使われていたようです。残念ながら、市場動向を楽観視する人はほとんどなく、市場の回復は、早くても第3四半期以降との見方が大勢です。特に深刻なのは日本のフレキシブル基板産業で、前年同月比で、2～30%の減少が続いていて、回復の見通しが立っていないようです。これは、日本の大手メーカーが、海外のモバイル機器メーカーへの依存度が大きく、その反動がもろに降りかかっている状況です。日本メーカーの多くは、ひたすら、景気の回復を待つという対応のようです。一部のメーカーは、今後成長が見込める自動車分野に期待しているようですが、それとて、実際にビジネスになるまでには年単位の時間がかかるでしょうから、それまで会社がもつたろうかと心配しています。ところが、台湾筋の情報によれば、すでに3月、4月、5月と、硬質基板、フレキシブル基板とも回復に向かっており、台湾メーカーのしたたかさを感じます。

以前は、台湾製といえば、日本製のコピーで、安い品質が悪いというのが共通認識でしたが、現在では、その認識を変えざるを得ない状況です。今回の展示でも、台湾メーカーの製品では、ユニークなものがいくつもありません。しかも実用的で、すぐにでもビジネスになりそうなものが少なくありません。すでに、台湾のプリント基板産業の規模は、日本のそれを上回っていますが、今後その差は大きくなっていく一方のようです。

次回は、技術的な面でのトピックスを紹介します。

DKNリサーチ、沼倉研史（マネージング・ディレクター）

今週のヘッドライン 2019年6月16日

1. Foxconn（台湾のEMS最大手）5/14
2019年第1四半期の利益は198.2台湾ドルで、前年同期比で17.7%の減少。市場の予想を上回る落ち込み。
2. South China Morning Post（中国のメディア）5/31
中国製造業のPMI (Purchasing Managers' Index) は、4月の50.1から、5月は49.4まで下落。マイナス成長の領域に。
3. University of Rochester（米国）6/5
超電導量子冷蔵庫を開発。冷却効率が飛躍的に向上。
4. Samsung（韓国エレクトロニクス大手）6/5
5Gの先を見据えて、6G通信技術のリサーチセンターを開設。LG社は、すでに今年初めに、スタート。

5. 中国政府 6 / 6

中国国有企業3社（China Mobile, China Unicom, China Telecom）に対して、5Gのライセンスを交付。Huaweiなどの端末メーカーの立上げのトリガーとなることを期待。

6. IDC（米国の市場調査会社）6 / 6

第1四半期における世界のEnterprise Storage Systemの市場は、前年同期比0.6%減少で、134億ドルに。容量は14.1%増加の114.2エクサバイトに。

7. Huawei（中国のエレクトロニクス大手）6 / 6

米国が出した部材サプライヤーブラックリストに掲載されたメーカーに対する発注を減らすとのうわさを否定。スマートフォンの生産予定は当初の計画通り。

8. eMarketer（米国の市場調査会社）6 / 6

2019年において米国人大人が、1日にモバイル機器をみる時間は3時間43分となり、テレビをみる時間を上回ると予測。

9. Foxconn（台湾のEMS最大手）6 / 6

Gou 会長が2020年の台湾総統選挙に立候補することに伴い、経営陣を大幅に刷新の計画。

10. Rice University（米国テキサス州）6 / 10

フレキシブルなカーボンナノチューブを使って、5G用途のために、新しいタイプのアンテナを開発。

11. Raytheon（米国防衛産業企業大手）6 / 10

航空宇宙産業大手のUnited Technologies社と対等合併することで合意。

12. Reuters（英国のメディア）6 / 10

5月における中国からのレアアース輸出額は、前月比で16%の減少。米中貿易摩擦の影響か。

（注）このヘッドライン・ニュース・レターは速報性を重視するために、若干の誤訳や数字の変換に誤りがある場合もございます。ご了承下さい。

DKNリサーチ
栄泰産業株式会社

DKNリサーチのイベントスケジュール

* 6月28日、技術セミナー「フレキシブル・デバイスにおける材料・加工の現在－医療・ヘルスケアを中心にウェアラブル用途を目指す－」、加工技術研究会、東京、北トピア、<http://www.ctiweb.co.jp/seminar/dkn2019/index.html>

申込みが定員を越えましたので、受付を締め切らせていただきました。

3月26、27日技術セミナー「フレキシブルエレクトロニクス最前線、応用市場の現状と将来、材料・生産技術の最新動向」工業技術研究院、台湾新竹市、

申込みが定員を越えましたので、受付を締め切らせていただきました。

最近のDKNリサーチの論文、出版物

* 「デザイン革命、見せる魅せる透明フレキシブル基板」沼倉研史、JPCA NEWS, NO. 591, 2017年12月

* 「ウェアラブル時代に向けての新しい加工技術」沼倉研史、コンバーテック、2018年6月号、加工技術研究会

* 「耐熱性透明フレキシブル基板の材料と加工技術」沼倉研史／溝口昌範、エレクトロニクス実装技術、2018年6月号、

下記URLを開けてみてください。最近のものの一覧をみることもできます。コピーライトの問題がないものは全文を閲覧することもできます。

<http://www.dknresearchllc.com/DKNRArchive/Newsletter/Newsletter.html>

<http://www.dknresearchllc.com/DKNRArchive/Articles/Articles.html>